

アモレ唾液ケアチューブ

再使用禁止

【警告】

- ・本品の保護管は、患者が歯で穴を開けたり噛み切ることがあるので、常に本品の状態を監視すること。[吸引力の低下や先端を飲み込むおそれがある。]
- ・保護管の先端を噛み切られた場合に吸引管が突出して組織損傷のおそれがある為、常に監視し適切に処置すること。

【禁忌・禁止】

- ・本品を吸引以外の目的に使用しないこと。
- ・再使用禁止。
- ・再滅菌禁止。
- ・本品は同一患者のみに使用し、複数の患者に使用しないこと。
- ・本品を閉塞した状態で継続使用しないこと。定期的に監視し、分泌物による詰まり、チューブの折れ曲がりがないことを確認すること。

【形状・構造及び原理等】

1. 形状・構造及び各部の名称

- ・ストレートタイプ



- ・ラウンドタイプ



- ・オーバルタイプ



①保護管②吸引管③コネクタ(色:緑、白、黒)

- ・本品はポリ塩化ビニル(可塑剤:フタル酸ジ-2-エチルヘキシル)を使用している。

** 2. 種類

本品は下表の通り先端形状やチューブサイズ等のバリエーションがあり、患者に合ったものを選択する。

単位: mm

型式	全長	外径	内径	先端形状	吸引管	コネクタ色
DQT-1S	360	4.4	3.0	ストレート	有	緑
DQT-2S	360	4.1	2.7	ストレート	有	白
DQT-1R	360	4.4	3.0	ラウンド	有	緑
DQT-2R	360	4.1	2.7	ラウンド	有	白
DQT-3R	360	4.4	3.0	ラウンド	無	緑
DQT-4R	360	4.1	2.7	ラウンド	無	白
DQT-5R	360	3.0	1.9	ラウンド	無	黒
DQT-1D	360	4.4	3.0	オーバル	有	緑
DQT-2D	360	4.1	2.7	オーバル	有	白

3. 原理

本品は、チューブの先端がストレート、ラウンド、オーバル状になっており、吸引用に吸引孔が空いている。唾液等の排液は、吸引器の吸引圧により保護管の吸引孔を通じ吸引管に流入して吸引され、体外へ排出される。

【使用目的又は効果】

本品は、吸引器と接続し、口腔内から唾液等を吸引するために用いるチューブである。

【使用方法等】

1. 本品を滅菌袋から取り出し、外観に破損やチューブの折れ等の異常が無いか確認する。
2. 使用する吸引器の吸引ホースとコネクタ部を接続する。
3. 先端側を患者の口腔内に留置し、チューブがずれないようにテープ等で固定する。
4. 吸引器を動作させて吸引を行う。

＜使用方法に関連する使用上の注意＞

- ・使用前に本品に破損などの欠陥がないことを確認すること。異常が認められた場合は、使用しないこと。

【使用上の注意】

1. 併用機器
 - ・本品は、吸引器と併用して使用すること。
 - ・併用する吸引器の吸引ホースの内径は5～7mmで、コネクタ部としっかり接続できること。
2. 重要な基本的注意
 - ・包装開封後はできるだけ速やかに使用すること。
 - ・本品はEOG滅菌済みであり、単回使用製品です。
 - ・併用機器等との接続不良による性能低下、抜けに注意すること。
 - ・本品に落下等の強い衝撃が加わった場合は、使用しないこと。
 - ・本品はポリ塩化ビニルを使用しており、可塑剤のフタル酸ジ-2-エチルヘキシルが溶出する可能性がある。
 - ・患者の体位変換などにより本品が閉塞したり、コネクタの接続が外れたりしないようにテープ等で固定すること。
 - ・併用する吸引器の吸引圧は-20kPa(-150mmHg)以下の吸引圧で使用する。[過度な吸引圧下での使用によって口腔内の粘膜を損傷する恐れがある。]
 - ・常にチューブの状態を監視し、使用中に破損や損傷等異常が認められた場合は直ちに新しいものに交換すること。
 - ・同一患者のみに使用すること。
 - ・口腔などの粘膜の損傷に注意すること。
3. その他の注意
 - ・洗浄：チューブ内の汚れは、定期的に蒸留水等をチューブ内に吸引させて洗浄すること。

【保管方法及び有効期間等】

1. 貯蔵・保管方法
 - 高温、多湿、直射日光及び水濡れを避けて保管すること。
2. 有効期間・使用の期限
 - 外箱に記載している使用期限を参照のこと。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者：トクソー技研株式会社

住所：〒879-0232

大分県宇佐市大字大根川318番地

電話番号：0978-33-5595